

『風と光と』は、富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、

## 地域教育の「横の連携」と「縦の接続」

を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。1年に6回程度の発行を予定しています。

## 皆様方とともに

富士・東部教育事務所 所長 梶原 壮史

目に青葉と申しますが、陽光にものみな美しく照り映える季節となりました。皆様方におかれましてはお変わりなく、ご清祥のこととお慶び申し上げます。地域教育情報誌「風と光と」の第1号をお届けするにあたり、これまでの教育事務所の取り組みに対しましての皆様方の御理解と御協力に、心より感謝申し上げます。

本事務所では、「地域教育フォーラム」や「明日の風」等、様々な活動を地域教育の柱に設定し、その歩みを進めておりますが、関係するすべての方々の温かいお気持ちに支えられて様々なことが実現できていることを、スタッフ一同、強く感じているところです。私たち教育事務所も、皆様方にとってそのような存在になれるよう、より一層尽力しなければならないと思っております。

教育事務所の業務は多岐にわたっていますが、どのような事業を展開するにあたって、私は常に、レイチェル・カーソンの著書『センス・オブ・ワンダー』に記された彼女の教育観が感じられる様々な言葉を意識するように心がけています。それらの言葉のエッセンスをいくつか紹介します。

- ・世界中の子どもに、生涯消えることのない「センス・オブ・ワンダー＝神秘さや不思議さに目をみはる感性」を授けてほしい。
- ・子どもは新しいものや未知なものに触れたとき、様々な形の感情がひとたび呼び覚まされると、次はその対象となるものについてもっとよく知りたいと思うようになる。
- ・子どもたちが出会う事実のひとつひとつが種子だとしたら、さまざまな情緒や豊かな感受性は、この種子を育む肥沃な土壌である。幼い子ども時代はこの土を耕すとき。
- ・子どもにとっても、どのようにして子どもを教育すべきか頭を悩ませている親にとっても、「知る」ことは「感じる」ことの半分も重要ではない。
- ・「センス・オブ・ワンダー」をいつも新鮮なまま保ちつづけるためには、私たちが住んでいる世界の喜び、感激、神秘などを子どもと一緒に再発見し、感動を分かち合ってくれる大人が、少なくとも一人、そばにいた必要がある。

レイチェル・カーソンは『沈黙の春』の著者でもあります。彼女の主張や教育観は、多くの環境教育関係者や幼児教育関係者等に大きな影響を与え、彼女の数々の言葉は世界各地で様々な形になり、教育活動として展開されています。もちろん、私自身も彼女の言葉に圧倒されているわけですが、彼女の色褪せない力強いメッセージは、かつて子どもだったすべての方々にも贈られているように感じられます。

冒頭、事務所がめざす“存在”について少し触れましたが、皆様方のすぐ傍にいて、お互いに理解を深め合い、ともに歩み、ともに何かを感じ、ともに感動を分かち合い、ともに成長できるような存在になれるよう、スタッフ一同、精一杯努めて参ります。今後も変わらぬ御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 《南・北都留地域教育推進連絡協議会の主な地域教育関連事業》

## 〔南都留関係〕

### ◎主催事業

- 【地域教育推進連絡協議会理事会・総会・教育講演会】 6月14日(水) 勝山ふれあいセンター  
教育講演会：「新しい結びつきで広がる教育の可能性」～地域教育力と学社連携～  
都留文科大学 教養学部地域社会学科教授 同 地域交流センター長 鈴木 健大 氏
- 【南北都留教育相談ネットワーク会議】 ①7月5日(水) ②12月6日(水) ③2月7日(水)
- 【第26回南都留地域教育フォーラム】  
11月10日(金) 富士吉田市民会館  
全体会の後、現在子どもたちが抱えている様々な課題にスポットを当て、地域連携の中での解決の方向を探っていきます。
- 【都留地区生徒の健全育成を目指す中・高連携連絡会議】  
①5～6月中予定(後日調整)  
②11～12月中予定(後日調整)



### ◎共催事業

- 【富士吉田地区小中高連携連絡会議】  
① 5月23日(火)全体会  
② 9月20日(水)ふるさと発見ワークショップ ③ 2月27日(火)全体会
- 【富士吉田地区小中高連携連絡養護教員部会】  
① 6月5日(月) ② 3月14日(木)
- 【親子カルチャー教室】  
7月22日(土) 富士北稜高等学校
- 【親子ふれあい体験教室】  
8月11日(金)山の日 都留興譲館高等学校
- 【南都留特別支援教育研究会】  
① 5月18日(木) ② 6月27日(火)  
③ 2月13日(火)



## 〔北都留関係〕

### ◎主催事業

- 【一人一花運動】 花の種(ひまわり・百日草・マリーゴールド等)の配付：4月中旬  
フォトライブラリー展：11月6日(月)～12月8日(金)北都留教育会館
- 【地域教育推進連絡協議会定期総会・教育講演会】 6月29日(木) 上野原市文化ホール  
人権教育講演会「人権を地域における教育・文化とするために～ジェンダー平等を手がかりに～」  
都留文科大学 地域社会学科准教授 富永 貴公 氏  
活動事例発表：島田子どもクラブ コーディネーター 碓井 恆夫 氏  
「学校と地域の連携・協働を図る地域作りの在り方について」

- 【明日の風 アスリート実技講習会】
  - ① 4月29日(土) ② 6月24日(土)
  - ③ 9月16日(土) ④ 11月 3日(金)
  - ⑤ 2月10日(土) ⑥ 3月 9日(土)



- 【ファミリーコンサート】
  - 12月16日(土) 上野原市文化ホール
- 心と体ヘルスアップ教室
  - 1月20日(土) 大月市民会館

◎共催事業

- 【伊藤知治教士八段剣道教室】
  - 10月22日(日) 大月短期大学 体育館
- 【帝京科学の夏まつり】
  - 7月23日(日) 帝京科学大学
- 【チャレンジ! 上高アニメーション】
  - 8月1日(火) (ゲーム形式の読書会) 上野原高校



◎協力事業

- 【シオジ森の学校】
  - ①オープンキャンパス：4月15日(土)
  - ②講座1： 5月13日(土)探鳥会
  - ③講座2： 6月 3日(土)間伐体験
  - ④講座3： 7月22日(土)夏のトレッキング
  - ⑤講座4：10月28日(土)秋のトレッキング
  - その他：木工教室、子供向けネイチャーゲーム、イス作りなど



《社会教育関連事業》

- ◎【南都留地区社会教育担当者会】(年間6回)
  - 南都留地区の社会教育(生涯学習)担当者の情報交換・意思疎通および研修を実施します。
- ◎【南都留地区ジュニアリーダー・アウトドア】
  - 2回実施：場所及び日程は未定
- ◎【南都留地区社教委連 定期総会及び春季研修会】
  - 5月19日(金) 研修会：渡辺 光美 先生(リズムオブラブ主宰)による講演  
「子育てが楽しくなるまちづくり」～健康安全郷育を地域の力で～
- ◎【北都留地区社会教育業務説明会】
  - 市町村社会教育担当者と、教育事務所との連携を図ります。
  - ① 4月19日(水)：大月会場 ② 11月16日(木)：小菅会場
- ◎【放課後子ども総合プラン推進事業「放課後子ども教室」「放課後児童クラブ」】
  - 南都留地区：富士吉田市・都留市・忍野村・山中湖村
  - 北都留地区：大月市・上野原市
- 【山梨ことぶき勸学院】
  - 新1年生(37期生)南都留教室 9名、北都留教室 19名
  - 新2年生(36期生)南都留教室 13名、北都留教室 20名
- 【フロンティア・アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」】
  - 8月 2日(水)～8月10日(木)



～小学校へのスムーズなつなぎを目指して～

## 富士吉田市幼保小連携連絡会議

5月10日（水）に南都留教育会館にて、第1回富士吉田市幼保小連携連絡会議が開催されました。富士吉田市内の幼稚園、保育園、小学校で年長児や1年生を担当している先生方が集まり、今年度の方向性について話し合いました。

この会は、富士吉田市内の幼稚園、保育園、小学校の連携を図り、幼児期から児童期にかけての子どもたちの健やかな育成を目指すことを目的としており、幼保小連携にかかわる意見交換や実践活動等を行っています。今年度も「小1プロブレム」等の解消に向けて、「よりよい就学に向けて」「聞く力について」「姿勢について」等の話し合いを進めていくこととなりました。ある保育士さんは、「秋になると保護者の方々も小学校への進学について考えるようになる。ぜひその前に、小学校の先生方から小学校での普段の生活で求められるレベル等を聞いておきたい。」と述べ、連携していくことの大切さを訴えていました。

児童生徒達がスムーズに次のステップに進んでいけるようにするために、幼保小の連携に限らず、中高大支も含めて手を取り合って連携協力していくことの大切さを感じました。

## 明日の風 アスリート実技講習会

4月29日（土）に、大月市営陸上競技場にて、令和5年度第1回アスリート実技講習会が実施されました。当日は非常に天気も良く、北都留地区の小中学生66名が気持ちの良い汗を流しました。

全体での体づくり運動の後、グループに分かれて「走り幅跳び」「走り高跳び」「ジャベリックボール投げ」「100m走」「60mハードル」「長距離走」の6種目を行いました。走り高跳びでは、まずはみんなではさみ跳びの練習。自分が左右のどちらの方向から助走するのが跳びやすいのかを確認した後、何度も練習を行いました。段々と高くなるバーを見て、「こんな高いのムリだよー！」の声や、助走を始めたものの、高くなっているバーが怖くて直前で立ち止まってしまう子どももいました。指導者の方から足の上げ方や助走の角度などのアドバイスを受け、無事跳べた時の喜んだ顔は非常に輝いていました。その後、背面跳びに挑戦する子どももいました。自ら様々なことに挑戦していく子どもたちを見て、とても頼もしく感じました。

そして最後は恒例のリレー大会。どのチームも最後まで諦めない姿に、この日一番の歓声が上がっていました。昨年同様に今年度も6回の開催を予定しています。多くの子どもたちに出会えることを期待しています。

### 今後の予定

6月24日（土）	9月16日（土）
11月3日（金）	2月10日（土）
3月9日（土）	



## シオジ森の学校 オープンキャンパス

4月15日(土)に「シオジ森の学校 オープンキャンパス」が大月市民会館において開催され、多くの親子が参加しました。

前半は、「小金沢のサンショウウオ」という演題で、山梨県希少野生哺乳類調査会事務局長の阿部純氏による講演が行われました。シオジの森の近くの沢ではサンショウウオを見つけることができます。講演会ではサンショウウオが好んで棲む場所、色や形や大きさ、食べ物など、非常に興味深いお話が聴けました。

後半は、大月周辺の手で伐採したヒノキの間伐材から作られた積み木10000個で遊びました。どこまで高い塔を作れるのか、大人も子どもも一生懸命になって挑戦し、予定時間もあっという間に過ぎてしまいました。積み木と直接触れ合うことを通じて、木のぬくもり、森の大切さを実感できました。



## 都留高校 令和4年度つる探プロジェクト発表会

3月18日(金)に県立都留高校の1・2年生が合同で、『都留高探究プロジェクト』成果全体発表会を開催しました。当日は代表の生徒たちが視聴覚室から各教室にオンライン配信する形での発表会となりました。

『都留高探究プロジェクト』は、フィールドワーク・実験・観察・インタビューなどの体験活動を軸とした、都留高校独自の課題研究プログラムであり、各自が設定したテーマについて1・2年生全員が「総合的な探究の時間」を中心に取り組んでいます。

今年度は、十分な新型コロナウイルス感染症予防策をとりながら、実地調査や提案活動を行ってきました。生徒たちの探究活動は「課題の設定→仮説→検証→まとめ→今後の課題」という手順で行われており、グループ内での協働作業を通じて「主体的・対話的で深い学び」につながったと思います。また、非常に多くの質疑応答が行われ、なかには発表者が即答出来ないような質問もありました。聴衆生徒からの質問により、今後さらに自分たちの探究が深まることが期待されます。



発表の様子



質疑応答の様子

卒業生代表あいさつ



令和4年度

## ことぶき勸学院 卒業式・修了式

3月14日(火)にYCC県民文化ホールにて、山梨ことぶき勸学院卒業証書授与式及び修了式が開催されました。第35期生の南都留教室14名と北都留教室21名が卒業証書を受け取りました。卒業生

を代表して北都留教室の能本保規さんが「先生方の熱意ある指導で、充実した学園生活を送ることができた」と謝辞を述べられました。

また、第36期生の1年生34名(南都留教室13名、北都留教室21名)も1学年の課程を修了しました。



北都留教室



南都留教室

令和5年度

## ことぶき勸学院 入学式・開講式



4月18日(火)にYCC県民文化ホールにて、山梨ことぶき勸学院入学式及び開講式が開催されました。第37期生となる南都留教室9名、北都留教室19名の入学生も式に参加しました。新入生を代表して北都留教室の天野幸子さんが、「長年培ってきた知識や技能にさらに磨きをかけ、学んだ成果を地域社会に役立てるように精進する」と誓いの言葉を述べられました。

今後2年間かけて、歴史や文学、芸術分野などを学んでいきます。南都留教室(担当:小幡浩)は、1・2年生ともに南都留合同庁舎、北都留教室(担当:中込一雄)は、2年生が大月市総合福祉センター、1年生が上野原市文化ホールを中心に活動を行っていきます。



新入生代表あいさつ

